滝の原便り

社会福祉法人　西仁会広報誌
〒320-0851　宇都宮市鶴田町3375
TEL028－632－7577

当法人の敷地東側に隣接して自転車歩行者専用道路が南北に走っている。この通りを北に歩いていくと私の足だと20分ほどで県中央公園の南口門に着く。ここは四十数年前までは専売公社宇都宮工場であった。当時、この工場と鶴田駅の間は専売公社専用線で結ばれ、出荷製品の輸送や原材料の搬入などに使用されていた。昭和52年に当工場が清原工業団地に移転すると、工場の跡地には現在の中央公園が整備（昭和57年）され、専用線跡は昭和60年のころ自転車歩行者専用道路として生まれ変わった。

この道路は公募による愛称「なかよし通り」と呼ばれている。交差する道路も少なく夜間も照明で明るく、安全・安心の遊歩道として通学・散歩・ジョギングや、地元商店会による各種イベント開催など、幅広く活用されている。私も昼の散歩コースの一つとしてよく利用しており、時には中央公園まで足を延ばし、四季折々の風景などを楽しませてもらっている。

この公園内には県立博物館があるが、そこで4月下旬から6月中旬まで企画展「下野の鎌倉街道」が開かれていた。お昼の散歩のついでにともいかず、別に時間をつくりじっくり見学させてもらった。この後、老健施設ファミール滝の原でもこの企画展の見学会が行われ、参加された利用者の方々は展示された資料に興味津々の様子であった。

この企画展は、近年の古道発掘調査の成果をもとに下野の鎌倉街道の実態や、沿道の住民の暮らしなどを紹介する内容のものであった。タイトルにある「鎌倉街道」とは、「いざ鎌倉」の際、幕府の御家人たちが鎌倉に馳せ参じた道で、都・鎌倉から各地に放射状に広がった幹線道路の総称である。鎌倉を出て小山・宇都宮・那須と下野国（栃木）を南北に縦断し終点の奥州北端の外ヶ浜（陸奥湾）に向かう「奥大道（おくだいどう）」はその一つである。全長750kmを超える中世最大の街道であり、この奥大道が古代（鎌倉時代以前）の道「東山道（とうさんどう）」に代わって奥州までの新たな主ルートとなったのは、源頼朝が平泉（盛岡）を本拠とする奥州藤原氏との戦いで鎌倉から東北へ進軍したのが始まりとされる。

1189年7月19日源頼朝は、奥州の藤原氏一族を討つため、三手に分かれて鎌倉を出発した。頼朝が率いる本隊は下野や武蔵の武者で構成され、宇都宮城の三代城主宇都宮朝綱やその子業綱も鎌倉から従った。朝綱は宇都宮大明神（二荒山神社）の社務の責任者でもあり、自身の苗字を宇都宮とした。約400年続く「宇都宮氏」の誕生である。

頼朝本隊は「奥大道」を北上し、同25日に現在の宇都宮の下河原町（常念寺前、亀井の水）付近にあった宿駅古多橋駅（こたはしのうまや）に着いた。宇都宮大明神（二荒山神社）に戦勝を祈願しそれが叶ったときは捕虜を献上すると約している。鎌倉幕府の記録書「吾妻鏡」には宇津宮（二荒山神社）に参拝後「御宿」に入ったとあるが、どこの宿かは定かではない。翌26日宇都宮を発ち同8月奥州に入ると、ひと月余りで藤原泰衡一族を滅ぼし奥州を制圧した。同10月には宇都宮明神に戦勝のお礼に参拝し藤原氏一族の樋爪季衡を当神社の神職として奉仕させている。

源頼朝の二度にわたる宇都宮大明神への参拝であった。当時の宇都宮だが、この大明神は真南にある宇都宮城に馬場道でつながり、城の東側は田川が南流していた。その右岸（西側）には「奥大道」が走り、沿道には今泉・上河原・中河原・古多橋（下河原）の4か所に宿があり、古多橋には駅（うまや）もあった。そして奥大道・宇都宮大明神・宇都宮城に囲まれたところに「町屋」が存在するなど、既に城下町・門前町・宿場町としての原形ができていたようだ。

こうした風景が眼下に広がる中世・宇都宮のまち、頼朝の目にはどう映ったのであろうか。

理事長　高野俊彦

ファミール滝の原

「子供の日」
今年もこどもの日にちなんで大人のお子様ランチ♪
おやつにはこいのぼりのケーキ。目で楽しみ舌で味わう楽しい一日となりました。

「欅ガーデンフェスティバル」
そば打ちを見学し、打ちたてのおそばをお昼に堪能。職員による出し物に大笑い。

「県立博物館」
企画展見学と中央公園の散策、天気もよくとっても楽しめました。

「夏パフェ」
7月13日、7月17日、7月20日3回に分けてフロアごとに夏パフェ作りです。自分たちでコーンフレークやコーヒーゼリー、アイス等トッピングして美味しく頂きました。自分で作ったおやつは格別です。

通所リハビリテーション

「新しいお風呂」
お風呂がリニューアルされました。きれいなお風呂は気持ちがいいですね。
ゆったりと湯船に浸かりながら見る赤富士は絶景です。

「大人の脳トレ」
塗り絵は脳トレとしてとても効果があるそうで、まず「絵を認識」し「過去に見たり体験した色や形などの記憶をさぐり」「構図を考え」「どう塗り進めていくかプランをたてて」それに従い塗り進めていく」ことで完成する、と。それになにより、やり始めるとハマるんです。みなさんとても楽しそうです。

「和風喫茶」
今日は待ちに待った和風喫茶です。沢山ある中から選ぶってやっぱり楽しいですね。思わず笑顔がこぼれます。頑張ったリハビリのご褒美、たまにはいいですよね。

「今月の壁紙」
綺麗なアジサイと色鮮やかな虹の架け橋。今回も皆さんがんばってくださいました。またまた力作が完成しました。完成品は1F通所リハビリフロアに展示中です。

ケアハウス滝の原苑

「こどもの日昼食会・お茶会」

昼食会のメニューはオムライス・ミックスフライ・サラダ・スープ・マンゴーでした。オムライスにはケチャップでこいのぼりが描かれ、とても好評でした。お茶会では柏餅を頂きました。

「七夕昼食会・お茶会」

昼食メニューは「握り寿司」「夏野菜のかき揚げ」「そうめん3種盛」「茶碗蒸し」「もずくの酢の物」。お茶会にはデザートの盛り合わせを頂きました。豪華なメニューに大満足の様子でした。

「富士見小学校運動会」

富士見小学校よりお招き頂き、今年も運動会に参加致しました。競技中、肩たたきをしてもらうなど触れ合いもあり、笑みがこぼれ、子供たちから元気をもらいました。

「大谷散策とカフェランチ」

歴史ある大谷寺や平和観音を回りました。県外からの観光客も多くなった最近人気のスポットです。ランチではおいしい野菜をたっぷりいただきました。

「コンサート」

栃木県庁で行われた東京大学管弦楽団有志の方々のコンサートへ行ってきました。クラシックから映画音楽まで。コンサートの後は甘味屋さんでランチを楽しみました。

「日光」

宇都宮は大雨でしたが、日光山内は曇り空で雨にぬれずに観光できました。日光二荒山神社に参拝し、田母沢御用邸を見学。金谷ホテルでお買い物をしたり、人気のカフェでは美味しいミニ懐石料理を頂きました。

「七夕昼食会」

昼食会ではお寿司、かき揚げ、そうめん、茶わん蒸し等を頂きました。盛りだくさんのメニューは味だけではなく彩もよいと好評でした。

宇都宮二荒山神社と日光二荒山神社の違いご存知ですか

宇都宮二荒山（ふたあらやま）神社は豊城入彦命を主祭神として仁徳天皇41年（西暦353年）の創建と伝えられる。一方「日光二荒山（ふたらさん）神社」は日光三山（男体・女峯・太郎）を神体として西暦767年勝道上人により本社が創設されたもので、双方は全く異なる神社とされている。

明治4年5月特に関係性のない二つの神社に対立を生む出来事が起こる。それは神社の社格制度改革である。この改革は、延喜式（10世紀）に倣い全国の神社を等級化（格付け）するもので、官幣社・国幣社（大社・中社・小社）、府・県・郷・村社、無格社などに分けられた。宇都宮二荒山神社は下野で唯一「国幣中社」に格付けされた。しかし、2年後の明治6年2月突如県社に降格した。代わって日光二荒山神社が「国幣中社」となった。その理由は「宇都宮二荒山神社は平安中期の延喜式神名帳に記載がない神社である」ということであった。つまり延喜式に記載のある「河内郡二荒山神社」は日光二荒山神社（当時は都賀郡）であるというのだ。

この当時、宇都宮二荒山神社は戊辰戦争で焼失した社殿の復旧が急務であった。この本殿が再建された明治10年、社格回復の運動が始まった。明治12年5月所管の内務省は「日光山は河内郡でないことが判明。宇都宮が延喜式に記載のある二荒山神社である。」と認めたが、社格回復は政府の威信を失うからできないとしてきた。この後の懸命な社格回復活動により明治16年5月5日宇都宮二荒山神社が「国幣中社」に列格する通知があった。翌年3月の臨時大祭は「ひっくりかえるような大祭礼」だったそうである。

これまで「明神さま」の愛称で親しまれてきた「宇都宮大明神（二荒山神社）」、いつしか愛称は「ふたあらさん」に変わったが、参拝者が多いのは今も昔も変わっていない。

日光二荒山神社

宇都宮二荒山神社

編集雑記

長かった梅雨も7月29日ようやく明けました。梅雨らしい天気が続いた梅雨って久方ぶりのような感じを持たれた方も多いのではないでしょうか。記録的な日照不足、長雨と梅雨寒で農作物や夏の観光等への影響が懸念されていましたが、これらを払拭するくらいのすっきりした天気が続くことを期待したいですね。

7月27日は「土用の丑の日」、誰が言ったか知りません（エレキテルの平賀源内先生らしい）が、「うなぎ」でしょうか。年々私たちの口に入り難くなっていますよね。今、国の研究機関でうなぎを完全養殖で安定的に大量生産できるよう取り組んでいます。試食では臭みもなく味も良好だそうです。早く出荷できるようになるといいですね。

通常参議院選挙結果は与党の圧勝に終わりました。かろうじて改憲勢力で3分の2以上とはなりませんでした。このことで国会運営に、少しでも国民の声が届くことになるといいのですが・・・。

東京オリンピックまであと1年。オリンピック施設の整備もほぼ計画通り進んでいるようですが、チケット入手は難しいようです。テレビ観戦で終わってしまう方も多いのでしょうか。

それよりも10月1日が間近に迫ってきました。多くの国民が景気回復の実感を受けることなく、消費税増税が始まりそうです。無理のない節約術、急ぎ勉強する必要があるかも知れません。

これから厳しい暑さが続きます。ご自愛ください。

次号は令和元年11月1日発行予定です。

新人職員のご紹介

特養　介護

老健
管理栄養士

老健　介護

特養　介護

老健　介護

ケアハウス
介護職

通所リハ　介護職